

一般社団法人日本呼吸療法医学会
2020 年度（第 43 期）第 4 回理事会 議事録

日 時：2021 年 7 月 21 日（水）14：00～15：00

場 所：WEB 会議形式での開催

出席者：藤野裕士（理事長）、今中秀光、尾崎孝平、志馬伸朗、竹田晋浩、陳 和夫、
西田 修、讃井将満、近藤康博、神津 玲、茂呂悦子、山本信章（各理事）
川前金幸、橋本 悟（監事）

欠席者：大塚将秀、内田寛治（理事） [敬称略]

陪 席：山崎由華、小笠原聡（事務局）

【開 会】（藤野理事長）

- ・理事会開催に必要な理事の過半数の出席があることが報告され開会が宣言された。

I. 報告事項

1. 前回理事会議事録の確認・承認（藤野理事長）

- ・前回議事録は、原案どおり承認された。

2. 持ち回り理事会（審議 3 件、連絡 3 件）決定事項の承認（藤野理事長）

- ・審議 3 件の決定事項を承認し、連絡事項 3 件を確認した。

3. 理事長報告（藤野理事長）

1) 新型コロナウイルス関連報告（質問 2 件、取材 1 件、引用転載 3 件）

- ・COVID-19 関連の質問 2 件、取材 1 件、引用転載 1 件について、理事長から報告があった。
- ・前年度に本会と ECMOnet が協同で実施した「ECMO チーム等養成研修事業」については、本年度は各都道府県が事業主体となって企画・運営を行い、ECMOnet は各都道府県に協力する形を取ることが報告された。現在、20 ほどの都道府県が実施に向けて企画・検討を進めている。

2) その他の報告

- ・学術研究推進委員会から医薬基盤・健康・栄養研究所のデータベース利活用の案内を学会ホームページのお知らせに掲載したことが報告された。

4. 学術集会報告・準備状況

1) 第 43 回学術集会報告（藤野理事長）

2021 年 7 月 3 日（土）・4 日（日）パシフィコ横浜会議センター

会期後のオンデマンド配信：7 月 20 日（火）～8 月 20 日（金）

- ・上記の日程で現地開催が行われ、会期後 1 カ月間のオンデマンド配信が実施されることが報告された。現地会場では新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の感染対策を徹底させ、来場者とスタッフの安全を第一に運営を行った。閉会后、関係者からの COVID-19 感染は報告されていない。
- ・会期中に豪雨災害が発生し、公共交通機関の遅延や運休が相次ぎ、一部役割者および

参加者の来場に支障をきたした。座長は主催関係者が代役を務め、演者各位には急遽遠隔での講演や、講演動画の作成・提出により対応いただいた。

- ・参加人数は以下のとおり（7/13 時点）。
 - ①現地参加者：延べ 867 名（2 日間）
 - ②オンデマンド含む全参加登録者数：1,519 名
（招待者・協賛企業関係者 48 名含む）
- ・専門医更新講習は、現地での聴講に限り更新点数取得可としたこともあり、会場は 2 セッションいずれも盛況であった。

2) 第 44 回学術集会準備状況（讃井副会長）

2022 年 8 月 6 日（土）・7 日（日）パシフィコ横浜ノース

- ・大会テーマを「**Break Through** 扉を開けよう」とし、ホームページがオープンしたことが報告された（<https://jsrcm44.jp/>）。第 43 回学術集会では各会場に広報スライドを掲載し、リーフレットの配布も行った。
- ・プログラム委員会は編成していないが、識者の意見を参考に検討を行う。日本集中治療医学会第 5 回関東甲信越支部学術集会（'21/6/12、浜松町）の会長も拝命し、その際に得た経験を活かして協賛企業の獲得や集客の増加を図りたい。感染状況にもよるが、今回は広く対面で集まれるよう企画する一方、オンデマンド配信も併用する予定。

3) 第 45 回学術集会準備状況（近藤副会長）

2023 年 8 月 5 日（土）・6 日（日）ウインクあいち（予定）

- ・'21/8/1 にウインクあいちにて上記日程の申込受付が開始されることになっているが、現時点では他の競合催事はなく、予定どおり会場を押さえられる見込みであることが報告された。

5. 事業報告

1) 第 50 回日本呼吸療法医学会セミナー（オンライン）開催報告（神津理事）

- ・初のオンライン形態で以下のとおり開催されたことが報告された。
 - 募集期間：2021 年 3 月 22 日～5 月 7 日 ※申込多数により 4/19 で受付終了
 - 視聴期間：2021 年 6 月 1 日～30 日 ※テキスト遅配により 7/4 まで延長
 - 申込者数：568 名
 - 全講義視聴完了者：549 名（96.7%）
 - 受講修了証（3 学会単位付与）ダウンロード完了者：540 名
- ・収支は受講料収入が 361 万円、支出が 274 万円となり、874,924 円の黒字となった。
- ・宅配業界の人手不足のあおりを受けテキストの遅配が発生した。今後も印刷物の制作・発送を行う場合は業者の変更も検討のうえ、余裕を持った配送依頼を行う。
- ・受講者からの問い合わせが相次いだが、その大部分は①「自動返信メールが届かない」「メールが文字化けしている」といったメーラーの受信環境・設定の問題（受信ドメインの指定、迷惑メールフィルター解除）、②「講義動画が見られない・止まる」といった推奨動作環境（ブラウザ）の問題に起因するものであった。
- ・会場手配や昼食準備などが必要な現地開催に比べ、500 名以上が視聴できるオンライ

ン開催のほうが経費面・集客面ともにメリットがあることから、当面はオンラインでの実施を予定している。テキストの制作・配布方式については二次利用が懸念されるため委員会内でも意見がわかれ、今回は印刷物にして事前発送としたが、今後はWEB掲載・ダウンロード方式についても検討を行う。

6. 各委員会報告

1) 利益相反委員会開催報告（西田理事）

- ・日本医学会のCOI表示に一部改定があり、本会のCOI申告書についても委員会で変更案を検討し、本理事会で承認された。主な変更点は以下のとおり。

- ①「企業等の役員・顧問職」の項目は金額の明記がないため削除
- ②各項の金額欄に「1つの企業・団体から年間～万円以上」の文言を挿入
- ③原稿料、研究費・助成金、奨学寄附金、旅費・贈答品額をそれぞれ100→50万円、200→100万円、200→100万円、10→5万円に減額
- ④「企業などが提供する寄附講座」の項目を追加し、金額は「実質的に使途を決定し得る寄附金100万円以上」とした。

- ・本会は日本医学会の分科会ではなく、完全に追従するものではないが、金額は合わせることにした。

2) バナー広告掲載報告：人工呼吸編集委員会（今中理事）

- ・2021年6月に日本メディカルネクスト社より1年間のバナー掲載申込があった。広告主は掲載基準を満たしており、広告料年間24万円（税別）の入金を確認後、7月より学会ホームページのトップに掲載したことが報告された。

3) 小児在宅人工呼吸療法マニュアル第2版の制作案承認の件（尾崎理事）

- ・本書籍のメディカ出版への制作委託が受理されたことが報告された。第2版制作に向けて新旧委員合同の委員会を早々に開催し、2022年度中の発行を目指して執筆依頼などを進めていく予定である。

7. その他

1) 2021年定時社員総会（WEB） 8月21日（土）10：30～

2) 2021年度（第44期）理事会日程について

- ・第1回理事会（WEB）2021年11月18日（木）14：00～16：00
- ・第2回理事会（WEB）2022年2月24日（木）14：00～16：00
- ・第3回理事会（WEB） 5月26日（木）14：00～16：30
- ・第4回理事会（実開催の場合） 8月5日（金）14：00～15：00
- ・上記日程を報告した。

II. 審議事項

1. 2021年度予算案について（藤野理事長）

<収 入>

- ・会費収入：2021年5月1日時点の会員数にもとづき計上した。
賛助会員が15社に増え、その分を計上した。
- ・事業収入：医学会セミナーを年2回、医師向けセミナーを年1回として、各500名

の参加費収入を計上した。

- ・ 広告収入：1号の広告・ユーザーレポート掲載料は実費を、2号は見込額を計上した。
バナー広告掲載料も実費を1号の広告料として計上した。
- ・ 機 関 誌：別刷販売は38-1号から注文のあった実費を計上した。
- ・ 書 籍 等：『ECMO・PCPS バイブル』は市場販売数650冊を見込んで計上した。
- ・ 学術集会：会長試算による予算案どおり計上した。
- ・ 以上、当期収入予算は83,849,523円で、前年度繰越利益90,312,544円をあわせて収入総計予算は174,162,067円となった。

<支 出>

- ・ 機 関 誌：1号の発行諸経費にもとづき計上した。
J-Stage 登載費用として、本年度の投稿論文12本を見込んで9万円を別刷印刷代等の項目に計上した。
- ・ 事 業 費：医学会セミナーを年2回、医師向けセミナーを年1回として、セミナー予算にもとづき計上した。
RST 事務経費は諸経費アップのため12万円を計上した。
- ・ 委員会費：各委員会の前年実績などにもとづき計上した。各種会議がWEB開催形式に移行したため、旅費の支出が大きく削減された。
ARDS 診療ガイドラインの制作費については、正確な出版費用が算出された後、3学会で按分することになる。
- ・ 学術集会：会長試算による予算案どおり計上した。
- ・ 専門医等：『呼吸療法専門医テキスト2021』の編集費などを計上した。
- ・ 雑 費：過去の機関誌PDF化・公開費用を見積にもとづき計上した。
- ・ そ の 他：理事会費・交際費・社員総会費・事務局費・通信費・租税公課・支払手数料・事務用消耗品費・法人税等を前年度にもとづき計上した。
- ・ 以上、当期支出予算は75,293,151円、次年度繰越利益が98,868,916円となった。

<収支合計>

- ・ 単年度の収支は約856万円の黒字予算となることが報告された。
- ・ 以上、2021年度予算について提案し、本理事会で承認を得た。本案を社員総会に提出し可否を諮るものとする。

2. 決算・予算のスケジュール前倒し案について（藤野理事長）

- ・ 会計士からの提案にもとづき、決算・予算のスケジュールを再考した結果、今後、決算については毎年11月の理事会で上半期（4～9月）の進捗報告を行い、予算については2月の理事会で次年度予算を審議することとした。

3. 学術集会

1) 第46回（2024年）学術集会会長について（藤野理事長）

- ・ 中根正樹代議員（山形大学医学部附属病院高度集中治療センター）を第46回会長に指名し、2021年定時社員総会で承認を得ることとした。

4. 定款・施行細則改訂

1) 懲罰規定にかかる定款改訂案について（藤野理事長）

- ・定款第 12 条（除名）の項目に、他学会例を参考にした懲罰規定を盛り込んだ内容を本理事会で審議した。
- ・第 2 項に追記した懲罰の種類のうち、1～3 号の「訓戒」「訓告」「譴責」は社員総会の議決を省略できるが、4～8 号の「委員会委員罷免」「役員罷免」「専門医資格の喪失・停止」「会員資格の停止」「除名」については社員総会で議決を得るため議事録に残ることになる。学会ホームページ上の公開は行わない。
- ・上記 4～8 号の処分対象会員が自発的に退会を申し出た場合は受理し、除名・懲罰の対象とならないことを確認した。
- ・審議の結果、本案を 8 月の定時社員総会に諮ることとした。

5. 専門医事業（藤野理事長）

- 1) 呼吸療法専門医・研修施設 認定審査結果（4/1～5/31 施設申請期間）
 - ・上記の審査結果が報告され、更新 7 施設、新規 10 施設の認定が承認された。
- 2) 専門医制度施行細則 改定案
 - ・テキスト執筆・筆記試験作問などに際し、委員長が必要に応じて委員会協力員を任命することができる改定案が承認された。

6. 各委員会からの審議事項

- 1) 過去の機関誌掲載記事のホームページ公開について（今中理事）
 - ・編集委員会から、以下の内容について理事会に上申があった。
 - 過去の機関誌（創刊から第 25 巻第 1 号まで）の冊子を裁断・スキャニング後に PDF 化し、ホームページにて一般公開する案
 - 近年の機関誌（第 25 巻第 2 号から第 38 巻第 1 号まで）の会員限定記事についてもホームページにて一般公開する案
 - 今後、発行から 1 年が経過した時点で、依頼論文などの会員限定記事についても投稿論文と同様にバックナンバーとして一般公開する案
 - ・一方、本誌は J-Stage への登載が認定され、論文種別を問わず J-Stage にも登載できるようになった。については機関誌の一般公開における J-Stage 登載と学会ホームページ公開の区別も含め、再度編集委員会で審議するよう差し戻すこととした。